

施策評価管理シート

2014(平成26)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
産業部	橋本 裕徳	63-7648 (観光交流室)

施策体系	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	5	都市産業の振興
	施 策	2	観光

1. 施策の基本方針

Plan

- ・観光客のニーズに添った多彩なメニューを整備し、市域全体を魅力ある楽しい観光のまちとして集客の促進を図ります。
- ・集客交流のための機能を整備して、新しい都市観光を創出します。
- ・広域観光ネットワークを活用し、一体的な観光客誘致戦略のもと積極的な情報発信を行い、広がりのある広域的観光ゾーンの形成を目指します。

2. 目標

○重点目標

Plan

- 魅力ある観光地づくり
 - ・エコツーリズムを推進していくため、実施に向けた効果的な仕組みづくりを行うとともに、エコツーリズム推進法に基づく認定を目指して取り組みます。
 - ・市内にある観光施設について、施設に応じた適切な維持管理を行うことで、利便性を高め、観光地の魅力向上に努めます。
- 集客交流機能の向上
 - ・「ご当地グルメによるまちおこしイベント」の開催準備に向け、情報収集を図ります。
 - ・名張市観光協会をはじめ、民間活力を活用し、情報発信機能や集客交流機能の向上を図ります。
 - ・観光拠点である赤目四十八滝をはじめ、市内全体の観光入込客数100万人規模に向けて取り組みます。
- 広域観光戦略
 - ・近隣市村と観光を通じた連携を強化し、近隣観光地との相乗効果による観光誘客・情報発信を行います。また、平成26年度まで続く「美し国おこし・三重」事業を絡めた事業展開を図り、当地域の魅力を高めていきます。
 - ・伊賀流忍者を三重県全体の観光資源として位置付け、伊賀圏域全体の知名度を上げて名張市の入込客数増加に繋げられるような取組を図ります。

○目標達成に向けた課題

Plan

- 魅力ある観光地づくり
 - ・エコツーリズム全体構想の認定申請に向け、市民の理解を深める必要があります。また、実践に向けた体制づくりが必要となっています。
 - ・老朽化が進む観光施設が多く、適切な維持修繕に努めるとともに、地域の活動団体や指定管理者制度を活用した効果的な施設運営が必要です。
- 集客交流機能の向上
 - ・「ご当地グルメによるまちおこしイベント」開催にあたり、諸課題を整理し効率的な運営を行うとともに、各団体において適切な機能分担を図る必要があります。
 - ・観光協会の運営基盤の強化に向け、事業の見直しを検討する必要があります。
 - ・赤目四十八滝の観光入込客数は減少傾向にあり、赤目四十八滝溪谷保勝会との連携強化や、観光キャンペーンの強化に取り組む必要があります。
- 広域観光戦略
 - ・広域的な情報発信機能の強化に向け、東大和西三重地域だけでなく、美し国おこし三重実行委員会や地域の団体と連携した取組や、情報発信の強化が必要です。
 - ・伊賀流忍者については役割分担を明確にし、着実に事業を展開していく必要があります。

<行政評価委員会からの意見>

- ・地域資源を活用した新たな観光施策の展開と情報発信に重点的に取り組む必要がある。

○施策指標 (目標) 及び達成状況

Plan

Do

施策指標 (目標) の内容 (単位)		現状値 (H20)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2015 (H27)	進捗率
観光入込客数 (市全体) (人) (平成24年度以降は全国観光統計基準に基づく)	目標	-	-	-	480,000		482,000	100%
	成果	297,000	303,093	331,554	936,996	1,248,622		

観光入込客数（赤目滝）（人）	目標	-	-	-	260,000		265,000	0%
	成果	193,000	177,667	145,613	167,466	164,340		
観光協会ホームページへの1日平均アクセス件数（件）	目標	-	-	-	440		670	0%
	成果	410	290	350	385	363		
東大和西三重観光連盟ホームページへの1日平均アクセス件数（件）	目標	-	-	-	25		28	100%
	成果	20	20	20	20	50		
名張市の物産や観光地が全国に向けてPR（情報発信）されていると感じる市民の割合（%）	目標	-	-	-	-		30.0	100%
	成果	-	-	23.2	26.6	30.2		

3. 取組内容

○課題解決への取組内容

Do

○魅力ある観光地づくり

- ・エコツーリズムの推進については、関係者と効果的な仕組みづくりについて協議を行うとともに、平成25年1月に策定した全体構想について、エコツーリズム推進法に基づく認定を目指し取り組みました。
- ・観光施設の管理については、老朽化した施設の適切な修繕に努めるとともに、地域の活動団体への委託や指定管理者制度を活用し、効率的な管理ができました。

○集客交流機能の向上

- ・全国からご当地グルメ団体を名張に招致し、「圏際・食彩・文化祭～ご当地グルメでまちおこし名張～」を実施し、食を通じたまちおこしを行いました。また、三重県及び県内各市町の観光・物産振興団体などが出展する「三重の魅力・名張元気フェア」や「隠街道市」を同時開催し、合わせて17万人を集客し、三重・名張の豊かな自然や特色ある歴史・文化を全国に情報発信するとともに、市内の学生や企業、個人延べ1,200人の方にボランティアとして参加いただくなど、官民一体となったまちおこしへの取組を進めることができました。
- ・一般社団法人名張市観光協会や特定非営利活動法人赤目四十八滝溪谷保勝会と連携し、市内外のイベントや観光キャンペーンの実施や市の魅力について情報発信を行いました。

○広域観光戦略

- ・東大和西三重観光連盟では、伊勢式年遷宮が注目される中、「美し国おこし・三重」事業と連携した事業展開により、地域内に存在する「元伊勢」をめぐる観光ルートの創出に取り組みました。また、首都圏では、三重テラスと奈良まほろば館で情報発信しました。
- ・伊賀流忍者推進協議会では、伊賀流忍者を内外に発信していくためのロゴマークや忍者衣装製作を行い、首都圏や関西圏でPRイベントを実施しました。
- ・三重県観光キャンペーン推進協議会では、伊賀流忍者などのコンテンツを用いながら伊賀地域の周遊を促進するPRを行いました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>

- ・全国のご当地グルメによるまちおこし団体とともに、多くの市民が参加するイベントを創り上げ、伊賀牛や伊賀米といった地域資源を生かし、市民との協働による観光施策を進めていく大きなきっかけとなりました。また、「元伊勢」や伊賀流忍者、豊かな自然等、地域のさまざまな資源を生かした観光施策を展開するとともに、情報発信を進めました。さらに、観光関係団体、学識経験者等で組織する「名張市観光戦略推進会議」を立ち上げ、名張市内への観光誘客施策展開の基本的な方針として策定する観光戦略について協議する中で、地域資源を活用した新たな観光施策の展開と情報発信について、さらなる進展を目指していくこととしています。

○地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・総合計画に掲げるそれぞれの取組で、観光関係団体や地域と連携し、環境整備、新たな観光メニューの開発、情報発信を進めることができました。
- ・「ご当地グルメによるまちおこしイベント」では、地域や各種団体と協働して実施し、市内の学生や企業、個人延べ1200人にボランティアとして参加いただきました。
- ・エコツーリズム及び観光戦略の推進において、地域づくり組織の代表者が推進協議会委員として協議に参画しています。また、東大和西三重観光連盟の事業については、地域会員だけでなく美し国おこし・三重事業に関わる市民活動団体と協働して事業を展開できました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 12 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名	事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価		
		2012 (H24)	2013 (H25)	事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度	
1115	観光振興対策費	観光交流室	12,136	8,676	B	実践している	継続(改善)	B	B
1182	エコツーリズム推進事業	観光交流室	82	116	B	実践している	継続(拡大)	B	A

1262	観光戦略推進事業	観光交流室	—	111	A	検討している、今後可能性がある	継続（拡大）	B	A
1263	世界に誇る伊賀流忍者活用事業	観光交流室	—	1,284	B	検討している、今後可能性がある	H26完了予定	B	B
1264	観光資源創生事業	観光交流室	—	7,800	B	実践している	H25完了	A	—
1265	「伊賀流忍者」を活用した観光振興事業（緊急雇用創出事業）	観光交流室	—	3,759	B	実践している	H25完了	B	—
3062	内水面資源観光活用事業補助金	観光交流室	2,585	2,585	B	実践している	継続（現行）	B	B
3063	名張夏まつり事業補助金	観光交流室	2,100	2,100	B	実践している	継続（改善）	B	C
3064	名張市観光協会補助金	観光交流室	6,500	6,500	B	実践している	継続（改善）	B	B
5019	キャンプ場管理費	観光交流室	3,825	2,851	B	実践している	継続（改善）	B	B
5020	観光施設管理費	観光交流室	7,678	7,450	B	実践している	継続（改善）	B	C
6085	広域観光事業	観光交流室	250	250	A	実践している	継続（拡大）	B	B
合計（単位：千円）			35,156	43,482					
小計（うち、一般会計分）			35,156	43,482					
小計（うち、特別会計・企業会計・組合会計分）			0	0					

5. 部局による施策評価

Check

評価

計画どおり事業推進

成果・評価理由

- ・エコツアーの仕組みづくりや観光施設の適切な管理によって観光地としての魅力を向上させ、観光協会等の関係機関と連携して観光案内や情報発信に取り組み、県や地域と協働で東大和西三重圏域や伊賀圏域の広域事業に取り組みました。
- ・市全体の観光レクリエーション入込客数が、「圏際・食彩・文化祭～ご当地グルメでまちおこしin名張～」の開催や名張の湯やとれたて名張交流館の入込客数の増により124万8622人（平成25年度）となり、昨年度比で31万1626人増と大きく上回りました。
- ・赤目四十八滝への入込客数は、昨年度比で3,126人減となる16万4340人（平成25年度）となっており、観光ニーズの多様化等観光を取り巻く環境の変化に対応していく必要があります。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

- ・総合計画や産業振興ビジョンの目標達成に向け、名張市観光戦略を策定し、「『訪れてよし』『住んでよし』『招いてよし』の観光都市 名張」を目指します。
- ・観光客の動向調査やマーケティングの結果を分析・検証し、観光ニーズの多様化等、観光を取り巻く環境の変化に対応した観光資源の最適活用を図ります。
- ・地域に根ざした観光資源を磨いていくとともに、エコツーリズムなどのニューツーリズムの取組を推進するとともに、地域に根ざした観光資源やニューツーリズムの取組等について、積極的に情報提供し、メディアなどを通じて、市内外に広く情報発信していきます。
- ・観光客に対するホスピタリティ（おもてなし）の向上により、リピーター（再来訪者）の獲得を目指します。
- ・外国でも知名度のある「忍者」などを生かし、Facebook等のSNSや外国語ホームページなどのツールを活用した情報発信に努めるとともに、各種団体や事業者と連携し、外国人観光客対象のホスピタリティ（おもてなし）向上を図り、外国人観光客の誘客を図ります。
- ・女性職員や若手職員を中心とした観光プロモーションチームを結成し、今までとは異なる視点からの観光戦略の推進に取り組みます。また、学生等を対象とした旅行商品コンテストを実施し、新たな視点から見た観光商品の開発を行い、新規顧客の誘客を図ります。
- ・市民への情報提供や市民向け観光ツアーの充実に努め、市民や本市出身者の人的ネットワークを通じた魅力発信を図るとともに、観光ボランティアの育成により、市民と一体になった観光情報発信に努めます。
- ・観光フェアや旅行商談会等への参加、観光協会や旅行会社、事業者等との連携により、観光旅行商品の開発及び販売の促進を強化していきます。
- ・東大和西三重観光連盟等の行政広域連携や観光協会等観光関連団体との連携、近畿日本鉄道等事業者との連携により、新たな観光資源の掘り起こしや情報発信力の向上を図ります。
- ・組織・機構見直し方針に基づき、公園の管理業務の一元化に向けて取り組むとともに、老朽化した施設について、今後の在り方も含め方策を検討していきます。

7. 総合評価

評価

B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他（意見）